



2023年6月14日

各位

会社名 株式会社 Link-U
代表者名 代表取締役社長 松原 裕樹
(コード番号: 4446)
問合せ先 取締役 CFO 志村 優太
(お問い合わせ先: ir@link-u.co.jp)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年6月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年9月14日の2022年7月期決算発表時に開示した2023年7月期(2022年8月1日~2023年7月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年8月1日~2023年7月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,890	百万円 251	百万円 186	百万円 84	円 銭 5.99
今回修正予想(B)	3,006	406	358	145	10.30
増減額(B-A)	116	154	171	60	
増減率(%)	4.0	61.5	91.6	72.1	
(参考)前期連結実績 (2022年7月期)	2,275	117	86	33	2.40

2. 修正の理由

当社では、2022年12月14日に開示いたしました2024年7月期からの3か年を計画期間とする中期経営計画を見据え、規模の拡大及び収益力の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当期の連結業績予想数値につきまして、上記のとおり修正いたします。当初公表した連結業績予想数値からの主な変動要因は以下のとおりです。

<売上の増加要因>

① ゼブラックの規模拡大

中期経営計画にて総合書店系サービスとして重点強化領域に設定しているゼブラックについて、2022年9月に集英社が運営する3つマンガサービスを統合いたしました。その結果、当社の想定を上回り、利用ユーザー数及び課金単価が改善いたしました。

② ゆれしるの規模拡大

中期経営計画にて自社プロダクトとして重点強化領域に設定しているゆれしるについて、プロモーションチャンネルの拡大及び機能の改善に注力してまいりました。その結果、当社の想定を上回り、新規ユーザーの獲得及び契約継続率の改善が図れたことから、利用ユーザー数が増加いたしました。

③ ローカライズ需要の増加

中期経営計画にてチャレンジ領域に設定している海外マンガサービスについて、プラットフォームの開発及び運営のほか、グループ企業である Comikey を活用したローカライズ事業にも取り組んでおります。海外における日本のコンテンツ需要の高まりを受けて、ローカライズ事業における受注が増加いたしました。

<利益の増加要因>

① 売上の増加

上記の要因による売上増加に伴い、利益が増加いたしました。

② 広告費負担の減少

当社では、レベニューシェアの割合や経費の負担割合について、サービスごとに共同運営者と決定しております。当社が運営を行う一部サービスの広告費について、当社の負担割合が減少する契約変更がございました。その結果、営業利益率が改善いたしました。

(業績予想について)

上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上